

くまのねん へびも浮世絵しんぶん

第8号
藤澤浮世絵館発行
10月12日(火)

囲碁には、 彼らの友情のひみつがー



きもの くつわ
ぼくの着物は轡もよう!
うま くち くわ どうぐ
馬の口に加えさせる道具だよ



うたがわよしかず どうかいどう ごじゅうさんつぎのうち ふじさわ に あまり
歌川芳員 「東海道五十三次内 藤沢 ひらつかへ二り余」

小栗との 出会いを語る。

やっほー! いつも「こど

も浮世絵しんぶん」でみんな

を浮世絵の世界へ案内する僕

について紹介する日が遂に来

たよ! 普段はキュートな僕

だけど、本当は「小栗判官

物語」に登場する「鬼鹿毛」

という暴れ馬さ。

この絵は小栗と僕、そして

小栗の彼女の照手姫の三人で

仲良く囲碁で遊ぶ様子を描い

ているよ。なつかしいな、

囲碁は小栗と僕が出会った

きっかけなんだ。人々から恐

れられて、独りぼっちだった

僕が、初めて友達になったの

が小栗さ。僕の背中にまたが

オニカゲくんの知られざる過去

り完璧に乗りこなしたんだ! し

かも、碁盤の上に僕を四つ足で

立たせてしまうほど! それま

での僕って、どんな相手の言う

ことも絶対に聞かない暴れ馬

だったんだけど(こんな過去を

話してしまっって、恥ずかしい!

)、僕を巧みに操る様子をみて、

みんながビックリしていたよ。

物語では、僕たちが実際に囲

碁で遊んだわけではないけれど、

エピソードにちなんで、上の絵

が描かれたというワケ。この絵

はほかにも、東海道の地域に伝

わる伝説を動物や人におもしろ

いポーズをとらせて登場させた

絵をシリーズとして出していて、

浮世絵館では、それらを「おも

しろ東海道」と呼んでいるよ。